

## 第6回オンライン勉強会のご案内

1. 日時：2021年2月20日(土)、14時00分～16時00分
2. テーマ： 学術論文の書き方
3. スケジュール：14時00分～14時50分（前半）  
14時50分～15時10分（休憩）  
15時10分～16時00分（後半）
4. 参加費：無料
5. お申込み **※締め切り：2月19日（金）、12時**  
救急隊員のための研究を学ぶ会ウェブサイトの「ホーム」→「勉強会情報」からお申込み下さい。
6. 問合せ先：帝京大学 医療技術学部 スポーツ医療学科 救急救命士コース  
TEL: 03-3964-1211（代表）  
E-mail: y-takayama@med.teikyo-u.ac.jp（担当：高山 祐輔）

今回のテーマは「**学術論文の書き方**」です。

日々、消防業務において、様々な種類の文書を作成していることだと思います。時には「書式が違う」という理由で作成し直したという経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか？

どんな文書にも決められた書き方が存在しているのです。

**学術論文も例外ではなく、書き方が決まっています。**

近年、学術論文を書いて学会雑誌に投稿する消防職員が少しずつ増加しています。

せっかく学術論文を書くのであれば、「ちゃんとした論文」を書きたいところですが、

「ちゃんとした論文」とそうでない論文を分けるものは何でしょうか？

それは「**論文が決められた書き方に従って書かれていること**」です。

既に学術論文を書いている人も、これから書くかもしれない人も、知っておくべきなのが「**学術論文書き方**」です。また、よくある誤解ですが、小論文と学術論文は全くの別もので、小論文の延長線上に学術論文があるわけではありません。

今回の勉強会では学術論文の書き方だけでなく、わかりやすい文章を書くためのポイントを単語レベル、文章レベル、段落レベルで説明します。

学術論文を書く予定がある方はもちろん、学術論文を書く予定がない方も、一生書かない方も使えるポイントです。

奮ってご参加下さい。

#### ■Zoomについて

今回の勉強会は Zoom という、オンラインセミナー・会議用に開発されたアプリケーションを使用して行います。Zoom アプリまたはブラウザから、今回の勉強会専用の ID とパスワードを入力することによって無料で参加できます。後日、お申し込み頂いた方に ID とパスワードをお送り致します。

#### ■その他

1. 本勉強会への参加証明書の発行は致しません。
2. 勉強会の様子は録画し、救急隊員のための研究を学ぶ会会員専用（限定）コンテンツとして公開する場合があります。その場合、個人を識別する情報（顔、名前など）が写り込まないように配慮・加工致します。